

## 2002年度聖隷クリストファー大学祭“聖灯祭”を祝して

学長 深瀬 須加子

学生の皆さん2002年度の大学祭おめでとうございます。皆さんの力と協力による「聖灯祭 一花火ー」がどの様に繰り広げられるのか、大いに楽しみに、また期待を寄せているところですよ。

昨年までは長い歴史を持った聖隷学園浜松衛生短期大学と聖隷クリストファー看護大学は別々に行われておりましたが、本年度社会福祉学部誕生に合せ、三学部一体の学友会として始めての大学祭ですね。テーマは「一花火ー。ドーンと打上げ学友会の出発を祝おうということでしょうか。いいですね。

私も楽しくなってきました。打上げられた花火がヒューヒューと音を立て夜空に向かっていくその様には、勢いと活力を感じます。パーといっせいに開いた花模様、赤・青・黄とその華やかさは、青春期にある学生皆さんを表しているのではないのでしょうか。

三学部協力によるこの度の大学祭は、各専門の個性の協同により、より豊かに表出されるものと思います。

「一本の矢より三本の矢」の例えにもありますように、より強いパワーを表してください。これは、本学の目標でもありません。保健康・医療・福祉の連携による総合ケアの実践にも通じるものがあるように思いませんか。

大学祭の開催に当り周辺地域の方々から多大なご協力・ご支援を戴いていることに深く感謝しつつ、皆さんの力を充分に発揮し、多くの方々々に喜び、楽しんで戴けますことを祈念いたしております。

## 灯火（ともしび）をかかげて

社会福祉学部長 遠藤久江

ロンドンのテムズ川近くのトラファルガースクエア一近くのロータリで、手に灯りをかかげたナイチンゲールの像に出会いました。台座にはクリミア戦争で傷ついた兵士の世話をしている様子が彫刻されています。学園祭のテーマを見て思い出しました。この灯火が聖隷にしっかり受け継がれていることに深い感動をおぼえます。

人間に関わる仕事は、業を磨くだけではなく、心も養われなくてはなりません。共に過ごす学びの日々が、生涯を支え合う友情と、絶やすことのない希望の灯火を燃やす力が育つことを願っています。

聖灯祭はそのための一大会イベントです。

ご成功をお祈りします。